

平成16年度教員養成学部フレンドシップ事業報告

池田 充

(教育学部実習地)

はじめに

本年度で、教員養成学部フレンドシップ事業（奄美大島における体験学習）は、9年目となった。本事業は教職を志す教員養成学部の学生の教育に対する興味関心を高めるために、学生の早い時期に学校や自然の家での生活の体験を通して、教職員や職員の仕事を間近で知り、自らすすんで子どもとふれあい、子供の行動や気持を理解し先生の仕事を知り、その後の講義、演習、実験や教育実習を意欲的に学ぶことができるようになることを目指している。

鹿児島県で教員になる新任者の約7人に1人が離島に赴任する。鹿児島大学教育学部が奄美大島における体験的学習を中心としたフレンドシップ事業を計画することで、離島が多くあるという鹿児島県の特성에対応することにもなっている。

この体験の結果として、学生が鹿児島の離島の様子を知り、入学の早い段階で教育に対する興味関心を高め、教育学部で学ぶ意義をつかむなどの、主体的な学習が行なわれることや、自ら学ぶ意欲・内的動機が高まり、その後の大学の講義を履修する時に、効果的な学び方ができ、質の高い教師の育成がなされるものと期待が込められている。

1. フレンドシップ事業の計画

授業科目

名 称：学校環境観察実習

対象人員：教育学部1年生を対象

単 位：1単位 受講者数：60人

2. フレンドシップ事業の日程

9月26日(日)	夕方6時鹿児島港出航（船中泊）
9月27日(月)	朝6時名瀬港到着：奄美少年自然の家入所、仮眠：入所式：午後少年自然の家のメニュー飯盒炊飯：夜ミーティング（自然の家泊）
9月28日(火)	名瀬市内の朝日小学校、奄美小学校：夜ミーティング（自然の家泊）
9月29日(水)	瀬戸内町加計呂麻島の薩川小学校、薩川中学校、押角小中学校：夜ミーティング（自然の家泊）
9月30日(木)	名瀬市内の朝日中学校、金久中学校：夜ミーティング（自然の家泊）
10月1日(金)	少年自然の家のメニュー：海浜学習：夕方9時20分、名瀬港出発（船中泊）
10月2日(土)	朝8時鹿児島港到着：解散
10月15日(金)	シンポジウム

3. フレンドシップ事業の体験を生かした今後の栽培実習の指導方針について

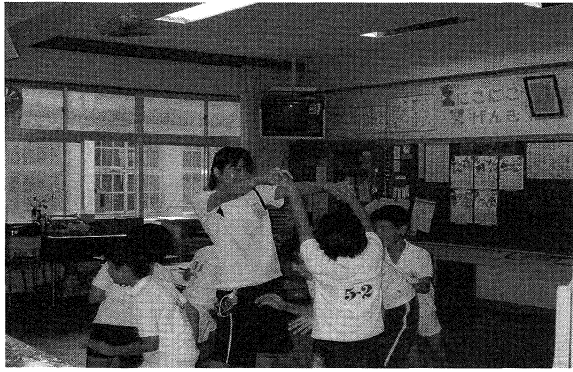
自らの体験を通じた現場の現状を可能な限り把握して、今後の実習に役立てていくことを目指し、教師を志す学生が、栽培実習等を通して、播種から収穫までを体験させると同時に育てる意義をも考えさせ、現場で環境美化の即戦力として活動できるような学生を、育成することを今後の目標としたい。

事実この体験学習で、現場の教師の声を直接聞く機会を得た、それは（種から育てられる教師を送ってください）との声だった。

どこの学校でも、（教師自ら種を蒔き苗を育て）学校環境美化に努めると共に、児童生徒に材料の提供をおこなうことは、日常的におこなわれている、しかしそれは教育的効果の向上を狙いとする一方、経済的問題も存在する。児童生徒に播種・管理・収穫を経験させ、食することは児童に感動を与えることのできる最大の学習であるものと考え、その方法を学生に学習させて現場で実践してもらおうことが、教育学部実習地の役割であると思います。

最後に、初日・2日目・3日目・と次第に彼らの取り組む姿勢が、目標を見据えた目に変化してゆくのをまのあたりにして、彼らと一緒に感じた一週間を頼もしく嬉しく思えました。

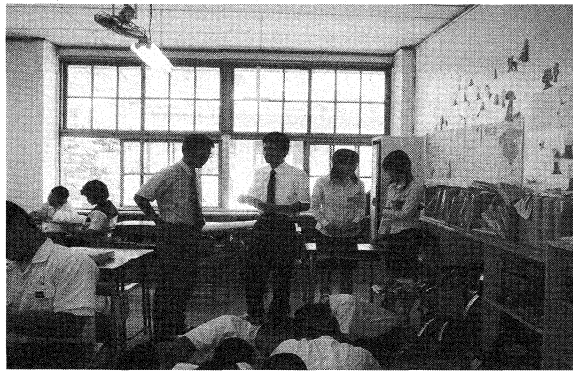
短期間での体験型学習ではあったものの、大学の1年生にとっては貴重で新鮮な体験を、今後は学習・実習等に大いにこの経験を生かせるものとして期待したい。



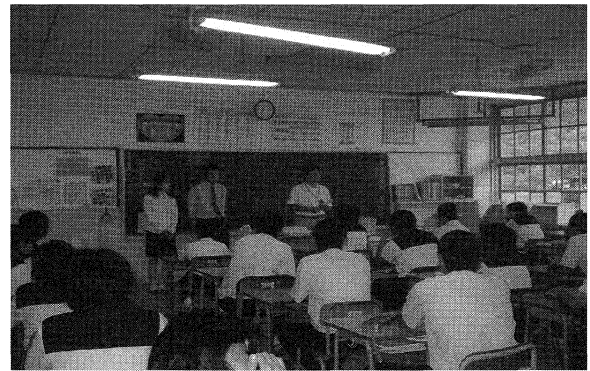
仲良くゲーム (朝日小)



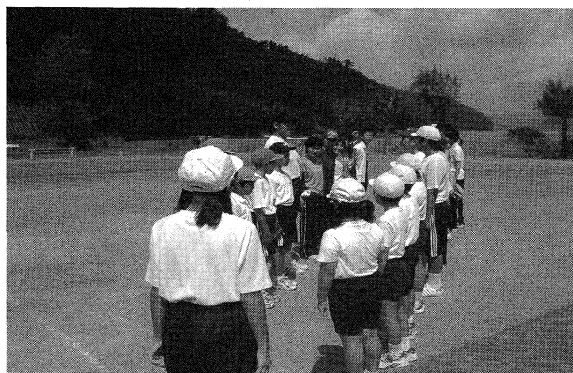
なにをして遊ぶ? (朝日小)



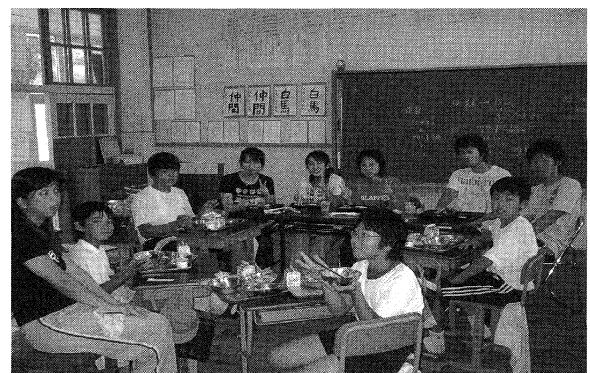
現場の先生に学生が質問 (金久中)



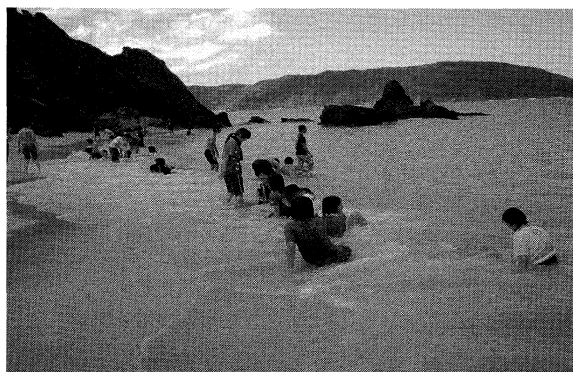
今日一日宜しく (金久中)



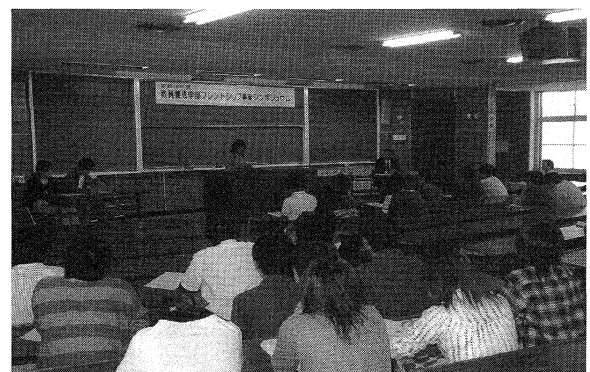
キックベースボール・互いに礼 (押角小・中)



大勢での給食は美味しい (押角小・中)



奄美のきれいな海で (少年自然の家)



シンポジウム・学生代表発表